



しおかぜ



レディースコースいよいよスタート

4月7日(土)より塩竈道院に『レディースコース』を開設します。

この「レディースコース」は、女性でも分かりやすく、ソフトタッチで指導するもので、少林寺拳法を楽しみながら「健康」と「護身」そして「精神修養」に繋げる女性(中学生から高齢者まで)だけのコースです。

「レディースコース」開設に伴い入会者を募集します。拳士の皆さんのアピールをお願い致します。

道院卒業祝い開催

2018年3月26日(仙台社都道院)と27日(塩竈道院)の両日、三塚悠蓮拳士(仙台)・松浦聖十郎拳士(塩竈)・瀬戸琉輝矢拳士(塩竈)・安藤翼拳士(塩竈)・早川佳津摩拳士(塩竈)の卒業祝いをそれぞれの会場で開催しました。

両道院共、有志が集まり道院長の手料理(しゃぶしゃぶ、鳥もも焼き、スパゲティ等)で卒業を祝いました。今年は、皆さん多忙のよう参加人数が少ない卒業祝いとなりましたが、あつという間の楽しい2時間でした。

卒業生の皆さん、中学生生活を楽しみましょう。

宗由貴 総裁メッセージ

2018年4月1日発信

少林寺拳法71年目、人づくりのこだわり

桜の花が満開です。卒業式の季節から、入学式の季節へと移り変わってきました。小学校入学を控えた子供の嬉しそうな姿や、準備に忙しいお母さんたちの様子もよく見かけます。

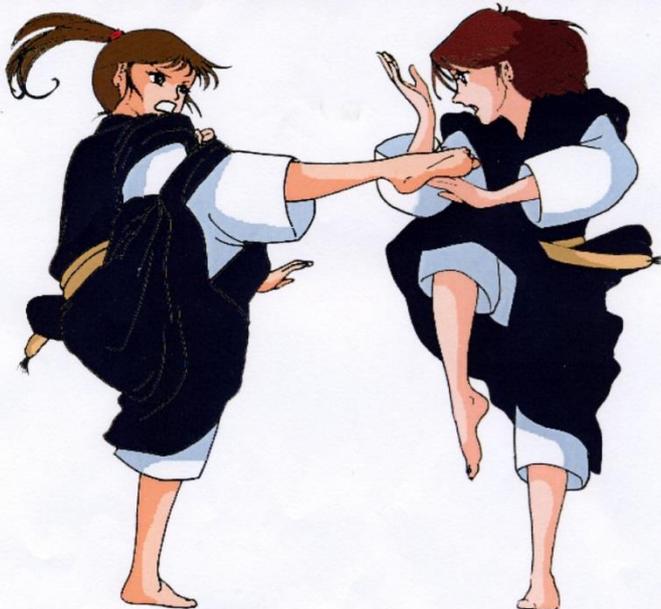


新しい世界に胸を膨らます子供達に、どんな未来を残せるのか私たち大人の生き方が今大きく問われていると思います。

モリカケ問題と言われ世間を騒がす森友学園と加計学園の土地買収に絡む様々な疑惑が、国会で追及されていますが、自殺者まで出たこの問題、「煙に巻いたが勝ち」とならないことを切に願います。

信念に基づき行動したことに、責任が持てる大人がどれだけいるのでしょうか。「付度」があつたかなかつたか、まさに日本らし

少林寺拳法 レディースコース始まる



入会者募集 塩竈道院専有道場(梅の宮:長沢郵便局向)

火・木	18:30 ~ 21:00 (年少者は20:00まで)
土	10:00 ~ 11:30 レディースコース 4月7日 スタート
	13:30 ~ 16:00 (年少者は15:00まで)

子供や女性・高齢者でも無理なく楽しく 健康や護身に

TEL 090-8921-3783 鎌田



ホームページ

少林寺拳法塩竈道院

検索

今後の予定

- ◎4月21日(土) 13:30から 教区長会議(金剛禅総本山少林寺)
- ◎4月27日(金) 18:00から 塩竈教区 昇級試験(塩竈道院専有道場)
- ◎4月28日(土) 13:30から 特別稽古&お花見(塩竈道院専有道場)
- ◎4月29日(日) 09:00から 宮城武専(青葉区体育館)

い表現です。する側もされる側にもその責任はあると思います。自分の意に反することであれば、誤解を受けないようにノーというべきであり、誤った判断をした場合には責任を負うのが普通です。「モリ」も「カケ」も、信念のもと同じ価値観を共有していたからこそ交流があつたのではないのでしょうか。責任ある立場の人は、自分の言動がどのような影響を及ぼすかは、ある程度予測しておくべきでしょう。民間にはそれが厳しく求められるのに対し、公の方々はその追及の場が終われば笑顔でいられる、未来ある子供達には絶対見せたくない姿です。



2018.03.27 塩竈道院での卒業祝い

少林寺拳法には「自己確立」、「自他共楽」という教えがあります。志を持ち信念を持つて生きるために頼りになる自分を養うことを第一とし、そんな自分を自分のためだけにではなく他人や社会のために生かせるようにという考え方です。「信念」と「責任」は切り離せません。そうでなければ単なるワガママです。どんな背中を見せて、未来ある子供たちを育てるのか。少子化が進む中、子供たちの宝物度合いを考えない大人は、日本の将来を壊します。

戦後まもなく創始された少林寺拳法の人づくりは、71年目を迎え益々こだわりを持つていきたいと思えます。

中国古典 紹介

今月は、「他山たざんの石、以つて玉たまを攻みくべし」

を掲載

『詩経』

よその山から出た石ころでも、こちらの玉を磨く材料とすることができると。つまり、つまらぬ他人の言動でも、自分を鍛える助けとして活用することができるといふもの。わかりやすく言えば、「人のふり見て、わがふり直せ」である。

自分を鍛えるのは、どんな人にも望まれることであるが、特に、人の上に立つリーダーには不可欠な条件である。では、自分を



2018.03.26 仙台社都道院での卒業祝い

鍛えるには、どうすればよいか。まず考えられるのは、立派な人物を目標にし、そのレベルをめざして努力することである。

周囲にそのような人物がいけない場合はどうするか。くだらない人物は身の回りにも大勢いるはずだから、かれらを反面教師として利用し、そうならないようにつとめることだ。ものは考えよう、どんな相手にも利用価値がある。それが「他山の石」にほかならない。